



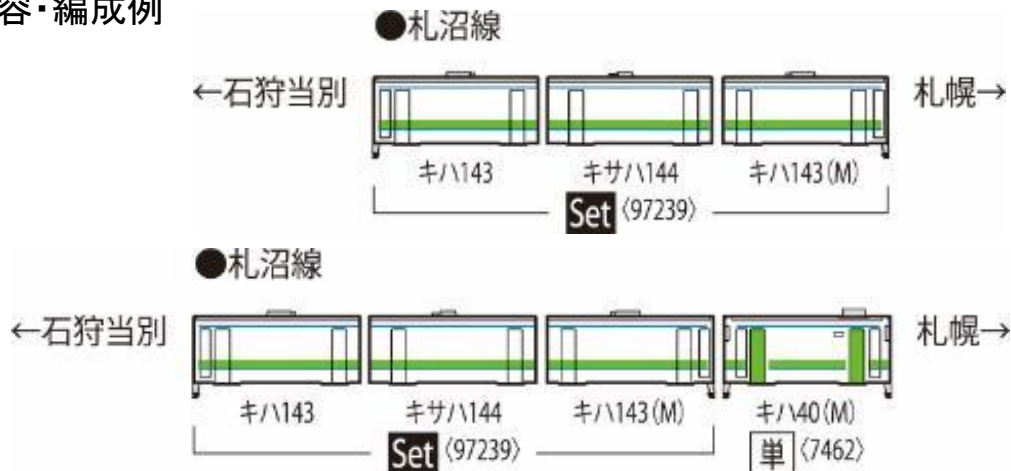
写真:加藤 勝

※写真は実車でイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆製品化特徴

- キハ143形を札沼線時代のキサハ144形が入った3両編成で再現
- 中間車キサハ144形を新規製作で再現
- ヘッド・テールライト常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ヘッドライトは電球色LEDによる点灯
- 前面表示は「札幌-石狩当別」印刷
- 運転台側はTNカブラー(SP)標準装備
- 車番は選択式で転写シート付属
- フライホイール付動力・新集電システム・黒色車輪採用
- M-13モーター採用

■セット内容・編成例



品番	97239	品名	JR キハ143形ディーゼルカー(札沼線)セット	セット両数	3 両
発売月	2026年5月	JANコード	4543736972396	予価	¥16,500 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218 × 304 × 34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース

JR北海道商品化許諾済

キハ143形札沼線3両編成



◆実車ガイド

- 1994年に登場したキハ143形は、50系51形客車を元にディーゼルカー化した車両で走行系をキハ150形と同様にした結果、従来のキハ141・142形より走行性能が向上し、最高速度は110キロとなりました
- キハ143形はトイレ付の150番代と無しの100番代に、運転台と走行用エンジンが無いキサハ144形100番代があり、主にこれら3両を連結した編成を基本にキハ141・142形やキハ40形300・330・400番代と編成を組みながら、学園都市線の愛称をもつ札沼線で札幌駅とその近郊を結んでいました

【文責:トミーテック】

◆ここがポイント

POINT

中間車のキサハ144-100形を新規製作



※図の台車は仮のものです

※画像は試作、開発中のものです 実際の製品仕様と異なる場合があります

<別売りオプション>

室内灯:<0733>LC白色
TNカブラー:<JC6366>密自連形

一緒に楽しめる商品



キハ40-1700

キハ40-400形



◆実車ガイド

- キハ40系は1977年に登場した一般形ディーゼルカーで、両運・片運や寒地・暖地向けなどの888両が全国各地の非電化路線を中心に運用されました
- キハ40形400番代は、北海道向けキハ40形100番代をワンマン対応化した700番代に改造を施した車両で1996年に登場しました
- 積雪時、単行で排雪運転できるよう走行系が強化されており、エンジンは450PSのN-DMF13-HZDに、台車は1軸駆動から2軸駆動に変更されました
- 外観は700・1700番代と比較して、ベースカラーが明るいグレーからクリームに、緑一色の乗降ドアや帯が無い前面貫通扉が見分け方のポイントとなっており、401と402の2両が配置されていました
- 主に札沼線の末端区間である石狩当別～新十津川でキハ53形500番代の代わりに単行で運用されますが、送り込みを兼ねて札幌駅からキハ143形やキハ40形300・330番代などと編成を組んでも運転されていました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ハイグレード(HG)仕様
- ジャンパホースは別パーツにより細密感が向上
- ヘッド・テールライト、前面表示部は常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ヘッド・テールライト、前面表示部は白色LEDによる点灯
- ヘッドライトはカラープリズムの採用により電球色に近い色で点灯
- 前面表示部は印刷済みパーツ「ワンマン新十津川-石狩当別」装着済み
- 前面表示部は交換用「学園都市線」「浦臼-札幌」「ワンマン浦臼-石狩当別」「石狩当別-札幌」印刷済み別パーツを付属
- 車番は401番・402番の選択式で転写シート付属

◆ここがポイント

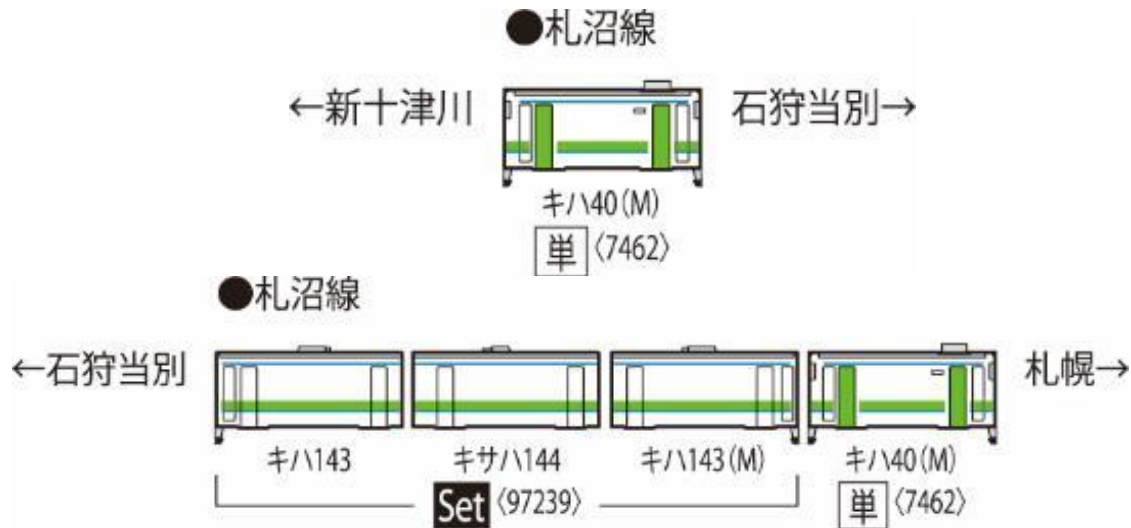


POINT

ジャンパホースは付属パーツを取付けることで、細密感が向上します

※画像はキハ40-1700形です

■セット内容・編成例



品番	7462	品名	JRディーゼルカー キハ40 400形	予価	¥9,460 (税込)
発売月	2026年5月	JANコード	4543736074625	パッケージ形態	クリアケース
原産地	日本	パッケージサイズ	180 × 30 × 65mm		

JR北海道商品化許諾済